

2025 年 10 月 23 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号：8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

再エネ併設蓄電池事業の取り組み開始について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：織田 寛明、以下「芙蓉リース」）は、九州エリアにおいて新たに取得した、固定価格買取制度（FIT）を活用し売電中の太陽光発電所 3 ヶ所について、FIT 制度から FIP 制度への移行並びに蓄電池を併設すること（以下「本取組」）といたしましたのでお知らせします。

本取組は、当社グループとして初めての再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電源に蓄電池を併設し運用する「再エネ併設蓄電池事業」となります。

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて再エネの導入が拡大する一方、天候や時間帯により発電量が変動する再エネ電源に対する出力抑制は増加しています。特に、九州エリアは太陽光発電を中心とする再エネの導入が先行して拡大していることから出力抑制の発生が多く、さらなる再エネ電源の導入の障害となっています。

本取組では、各発電所の敷地内に蓄電池を併設し出力抑制が発生しやすい昼間に発電電力を充電、太陽光発電の供給量が減少し電力需要が高まる夕方から夜間に放電することで、再エネの最大活用と電力需給の平準化を図ります。

芙蓉リースグループは、2012 年より再エネ発電事業を開始し、現在では全国で多数の太陽光発電所を保有・運営しています。本取組で得られる知見を活かし、芙蓉リースグループが保有・運営する太陽光発電所への蓄電池導入を加速するとともに、お客様が保有する太陽光発電所における蓄電池導入の支援を一層推進し、再エネの主力電源化と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

[計画概要]

発電所所在地	発電所出力	蓄電池容量	蓄電池完工予定時期
福岡県	約 2.5MWdc	約 4.5MWh	2026 年度上期
熊本県	約 1.3MWdc	約 2.0MWh	2026 年度上期
鹿児島県	約 1.6MWdc	約 8.1MWh	2025 年度下期

*蓄電池容量と蓄電池完工予定時期は、今後の検討により変更となる可能性があります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）渡邊

電話番号：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>